

Technical Information Report

押締端子台をご使用のお客様にご注意とお願い

Ve1007R2_2422-00062-2 別紙

【はじめに】

押締端子台は、筒状の導電金具(ケージ)に電線を挿入し、導電金具を取り付けたねじの先で直接的、又は当て金を介して電線の締め付けを行う構造の端子台です。

締め付け圧力(ネジ締め作業)がケージ(端子金属ケース)下部にかかる、ケージの雌ねじが締めまりスプリングワッシャーの役割をして緩み防止を行う方法の端子台です。

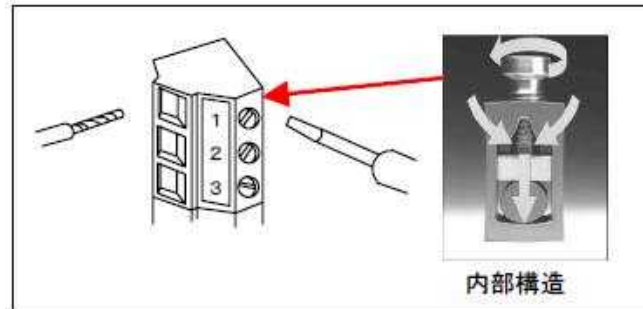


図1：押締端子台

【電源ケーブルを押締端子台へ接続する作業方法と注意事項】

- ① 電源ケーブルを押締端子台より取り外した際、再結線時にはヨリ導体部をそのまま使用しないでください。必ず、電線被覆剥きの再加工を行ってください。
- ② 電線被覆剥きは、電源ユニットまたは押締端子台の取扱説明書を参照し、指定の長さを剥いてください。
- ③ 電線を入力端子(押締端子台)へ挿入し締め付ける際は、絶縁体(被覆)の挟み込みにご注意ください。また、挿入時の電線の剥き出し部は、ばらけ、ねじりすぎ、曲がりがないようにご注意ください。
- ④ 過剰なトルクやトルク不足が発生しない様に、電源ユニットまたは押締端子台の取り扱い説明書を参照し、指定トルクで締め付けてください。
- ⑤ ネジを締め付ける際には、ネジのサイズに合った適正工具をご使用ください。
- ⑥ フェルール端子をご使用の場合は、押締端子台および線材径にあったものをご使用ください。(フェルール端子をご使用することで、ヨリ導体のバラケが防止されます。)



図2：フェルール端子

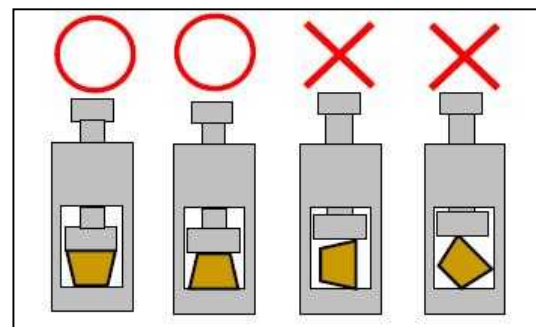


図3：

フェルール端子の挿入の向きは圧着状態の上下と端子のクランプ部の穴の上下を合わせてください。